

## シンポジウム 「QOLを向上させる最先端スポーツ活動」

### 新潟県のパラリンピック教育



佐近慎平

健康スポーツ学科 准教授

東京2020オリンピック・パラリンピック競技会（以下、オリ・パラ）まで1年を切りました。日本中でオリ・パラ・ムーブメント全国展開事業が実施されており、本県では、小・中・特支学校から5校をオリ・パラ教育推進校に指定、また、現職教員の研修会においてパラ教育を実施し、健康スポーツ学科では講師を担い、教育課程においてオリ・パラ教育推進に貢献しています。

次に、本学では、スポーツとリハビリ分野が連携し、新潟県民に、パラスポーツの普及を行っています。パラリンピックとデフリンピック（聴覚障害）とスペシャルオリンピックス（知的障害）の3者協働による「3picsスポーツチャレンジ」事業（スポーツ体験会）、また、知的障害者対象の健康相談会を実施しています。

本シンポジウムでは、新潟県で実施したパラ教育の事例を報告します。

#### <略歴>

修士（スポーツ科学）／仙台大学。仙台医療福祉専門学校、青梅慶友病院リハビリテーション室レクリエーションワーカー、目白大学人間学部人間福祉学科を経て現職。専門分野は身体教育学（幼児期や障害児者、教師の力量形成）

#### <資格>

社会福祉士、レクリエーションコーディネーター、幼児体育指導者、障害者スポーツ指導員

#### <特記事項>

新潟県教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員長、リオデジャネイロ2016オリンピック・パラリンピック競技会JAPAN HOUSEスポーツ庁ブース運営委員